



平成8年度指定 高指第82号

塩谷 亮三

【雅号】亮りょう

生年／昭和13年 指定技術名／漆器・木地(曲物)



まげわうめがたもりき

曲輪梅形盛器

この盛器は、単純な曲輪ではなく巻状の曲輪を切断し梅花の形に成形したもので、木地を变形・積層させて変化に富んだ形態を生み出している。全体の柔らかなカーブと、側面にある段差のシャープな表情がほどよい均衡を保っている。

平成9年作 素材・技法／椴、桐・曲物 寸法／高さ22cm×幅26cm×奥行26cm

[表彰・受賞歴]

- 昭和52年 高岡伝統工芸加工技術振興展最優秀賞(以後、2回入賞)
- 昭和53年 高岡市伝統工芸産業優秀技術者表彰
- 昭和59年 全国漆器展優秀賞
- 平成 8年 日本漆器協同組合連合会功労者表彰
全国漆器展通商産業省局長賞
- 平成 9年 全国漆器展日本経済新聞社賞
- 平成11年 高岡物産振興協会技能優秀者表彰
- 平成15年 全国漆器展厚生労働大臣賞
- 平成17年 伝統的工芸品産業功労者表彰(中部経済産業局長)
- 平成18年 瑞宝単光章
- 平成19年 高岡市市民功労者表彰

[経歴]

- 昭和31年 父友義に師事、曲物木地製造技術を習得
- 昭和62年 独立自営、現在に至る
- 平成 2年 伝統工芸士に認定
- 平成 9年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
- 平成18年 高岡漆器伝統工芸士会会長